



特集 92%

これ何の数字？

正解は一

「中学生で、インターネットにつながる自分専用の機器を持っている人の割合※」

この問いに、小学生は87.3%が「持っている」と答えています。「そんなにいるの？」と思った方もいるのではないのでしょうか。

※県教育委員会「平成25年度携帯電話・インターネット利用に関する実態調査」

「インターネット」と聞いて、皆さんはどのような印象を持ちますか。「便利で、なくてはならないもの」「使い方が分からない」など、人によって捉え方はさまざまです。

情報化が進んだ今、インターネットは生活の中で身近なものとなっています。市でも、インターネットを使い、ホームページやTwitter(ツイッター)、Facebook(フェイスブック)ページ、LINE@(ラインアット)などで情報発信を行っています。子どもたちを取巻くインターネット環境もまた、ここ数年で変わってきています。県教育委

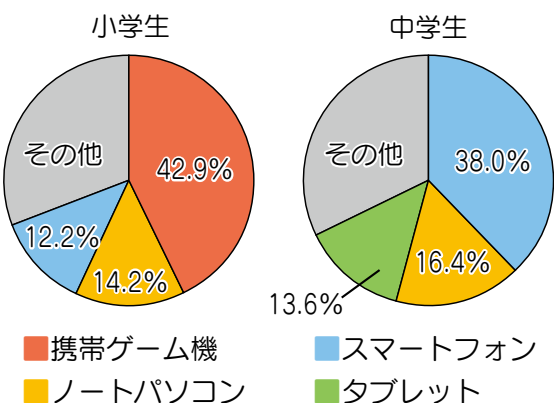
員会の調査で、小・中学生のおよそ9割がインターネットに接続できる自分専用の機器を持ち、およそ8割がインターネットを利用していることがわかりました。機器の種類も多様化。最近

はゲーム機や携帯音楽プレーヤーなどでも、機種によってはインターネットに接続できます。子どもたちが主に利用するサービスは、オンラインゲームや動画の視聴、LINEなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)です。また、休日、一日1時間以上利用している中学生はおよそ7割。子どもたちにとって、インターネットは当たり

前の存在になつていのです。そのような中、インターネットを悪用した詐欺や、SNSでのトラブルから発展した事件などがニュースになりました。子どもが巻き込まれるケースもあつたことから、「インターネットは悪いもの」と思った人もいるかもしれません。

しかし、本当に、「インターネット」が悪いのでしょうか。子どもたちをトラブルから守るためには、大人の存在が不可欠です。今回は、「消費生活」コミュニケーション」の二つの観点から、インターネットとの付き合い方について考えます。

Q. 一番利用するインターネット接続機器は？



※その他に含まれるものは、固定ゲーム機、デスクトップパソコンなど。

県教育委員会「平成25年度携帯電話・インターネット利用に関する実態調査」

本当に、「インターネット」が悪いのー？

LINE(ライン)

東日本大震災をきっかけに生まれた、無料通信アプリケーション。友達や家族と、メールのようなやりとりや通話ができます。
▼LINE安心・安全ガイド
http://line.me/safety/ja/index.html



LINE株式会社 CSRチームマネージャー 浅子秀樹さん

【表2】10代のLINE利用率の推移

平成24年	平成25年	平成26年
38.8%	70.5%	77.9%

総務省「平成26年情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」

これ何の数字? **77.9%**

正解は:
10代でLINEを使っている人の割合平成26年

感じ方の違いに気づいて楽しいコミュニケーションを

LINEは、若い世代に多く利用されているSNSの一つです(表2参照)。SNSの利用について「楽しいコミュニケーションを」ということが基本です」と話すのは、LINEの浅子秀樹さん。浅子さんは、全国の小・中学校、高校などでSNSの使い方に関する啓発活動を行っています。

コミュニケーションの原点に立ち返って

SNSでのトラブルの多くが、誤解によるものだと思います。例えば、相手がメッセージを

「SNSにはリアル(現実)の人間関係が反映されています。SNSでトラブルになることは、現実でも起こり得るトラブルなんですよね。だからこそ、SNSを使うにあたって、コミュニケーションの原点に立ち返ることが大切です。」

中学生の声を聞きました

②家でルールってある?

(渡邊さん)特にはないですね。(本多さん)夜10時以降は使わないことになっています。

③LINEの利用時に気をつけていることは?

(渡邊さん)スタンプを使い分けて、誤解されにくい表現を心がけています。何も絵を入れないと冷たく見えてしまうので…。(本多さん)文末に絵文字や「!」などのマークを入れて、ぶっきらぼうにならないようにしています。

①インターネット、使ってる?

(渡邊さん)小学5年生のときにタブレットを買ってもらいました。YouTubeやTwitterを見ている。あとは、親のスマホを借りてLINEを。生徒会の打合せや連絡にはLINEを使います。(本多さん)親のスマホを使っています。中学に入って少ししてから使い始めました。LINEやゲームをしたり、ニュースを見たりしています。



笠原中学校 左から渡邊すず菜さん(3年)、本多峻翔さん(2年)

これ何の数字? **415件**

年間

正解は:
市消費生活センターに寄せられたインターネット関連の相談件数(平成26年度)

すべての年代で増えるインターネットトラブル

市消費生活センターに寄せられる相談で最も多いのが、インターネットを利用する中でトラブル。その相談件数は、年々増加しています(表1参照)。インターネット関連のトラブルは、大人でも巻き込まれてしまうもの。子どもなら、さらにその危険性は高まります。「小学生や中学生からも相談の電話を受けます」と話すのは、

市消費生活センター長の飯村記子さん。『サイト利用料が未納です。心当たりがない場合や、間違えて登録した場合はご連絡ください』などと書かれたメールに驚いて、記載された電話番号に連絡してしまった、という話も多いといわれています。しかし、このようなメールは不特定多数の人に宛てて送られているもの。「電話をかけて、名前や住所、電話番号などを伝えたいときに初めて、相手にこちらの個人情報が出てしまっているんです」。親の名前や職場などを伝えてしまったというケースも。「身に覚えのない、不審なメールが届いたら、無視するのが一番の対処法です」と飯村さんは話します。

市消費生活センター

市消費生活センターでは、消費トラブルに関する相談に、消費生活相談員などが応じます。インターネットの利用などに関する出前講座も行っています。



市消費生活センター長 飯村記子さん

【表1】インターネット関連の相談件数

平成24年度	平成25年度	平成26年度
279件	405件	415件

全年代での件数。20歳未満の相談のうち、インターネット関連の相談は6割にのぼる。

さまざまな事例を知って各家庭で対策を

子どもが親のスマートフォンを使った後、クレジットカード会社から高額な請求が来て驚いた、という相談もあつたといわれています。原因は、インターネットを使ったオンラインゲームで、有料のアイテムなどを無断で購入していたこと。「スマートフォンのクレジットカードの番号を記憶させている場合、簡単に決済できてしまうんです。親子で共用している場合は特に注意が必要です。他にも、カードの保管場所を知っていて、こっそり番号を入力してしまつたという話もあります」。未成年者による契約については取消せることもありませんが、クレジット決済した場合、保管責任の観点から、契約を取消せないことも。カードの管理やスマートフォンなどの設定の確認が必要です。

「インターネットを使つたらどのようなトラブルが起こり得るのか知っておくことで、未然にトラブルを防ぐこともできます。何の知識もなくトラブルに遭つたら慌ててしまいますよね。いろいろなケースがあるんだということを知って、対策を考えましょう」。

安心して相談できる場所を

子どもから相談を受けたときは特に、「ここは安心していいところだよ」という雰囲気を感じるように心がけています。「間違えてアダルトサイトに登録してしまつた」と不安そうなお声で電話をかけてくる子もいます。そうときには、不安な気持ちを少しでも和らげるために、「間違つてしまつたときに、驚いたり不安になつたりするのは大人も同じこと。よく相談してくれたいね」と話します。



市消費生活センター 相談員 藤咲利枝子さん

相談日時/月~土曜日、午前9時~午後5時(祝日を除く) 電話 226・4194

教育の現場から



県メディア教育指導員
川野邊洋美さん

メディア教育で
自分自身で判断できるように

「実際に使う子どもたち自身のメディアリテラシー」を上げていく必要があります」と話すのは、県メディア教育指導員の矢口みどりさん。例えば、無料のアプリケーションを入手する際、端末に記録された情報の提供などが条件になっている場合があるといえます。条件を確認せずに携帯電話に取込んでしまうと、電話帳などの個人情報漏れ、自身自身や友だちにも迷惑メールなどの被害が及ぶことも。「無意識に、自分が加害者にも被害者にもなっていることがあるんです」。

安全に利用するためには、もちろん保護者の知識や理解も大切。「保護者自身がインターネットを使えなくても、どこに相談すればよいかなどという知識を身につけておくことが必要です」。

また、SNSは、友人関係や生活習慣とも密接に関わるといいます。「下校後も、インターネットでつながることで、24時間途切れない友人関係ができてしまう。本心では面倒だな、と感じる子どもも多いんです」。みんながつながっていると思うと、仲間外れになるのではないかと思ってしまう。



県メディア教育指導員
矢口みどりさん

▼県メディア教育指導員
インターネット上の有害情報などを保護者に伝えるため、平成18年度から県が養成。県内の小・中学生、保護者などを対象に講演を行っています。

れない。学校と家庭の切替えが難しくなるほか、睡眠時間や学習時間を削ってしまう、生活習慣も乱れてしまいます。

さらに、SNS上でのやりとりを、スクリーンショットで友だちに拡散してしまいケンカやいじめに発展するといったケースも。二度インターネットで流した情報は消すことができません。常に冷静さと思いやりを持ち、情報の選択や友だちとの接し方を自分自身で判断していくことが大切です」。

風通しのよい 親子関係を築いて

SNSでのトラブルは、保護者の見えないところで起きていくことはほとんど。気づいたときには、深刻な状態になっていることもあるといいます。

「インターネットのことを話題に出すことで、子どもの悩みに気づいたり、子どもが相談しやすくなったりします。普段からよくコミュニケーションをとって、風通しのよい信頼できる親子関係を築いてほしいですね。それぞれの家庭の考え方に合った「守れるルール」を話し合うことが大切です。また、子どもは親の姿を見ている。親が模範となるように気をつけたいといけません」。

「親が一方的に決めたルールは、なかなか守れないということも多いのが現実。子どもも納得のいくルール作りが求められます」。

用語解説

- ・メディアリテラシー…情報を理解し、見極める力
- ・スクリーンショット…スマートフォンなどの画面を画像化すること

✓ 確認してみましょう CHECK!

- 【未就学児】
- スマートフォンが育児の手段になっていませんか？
 - 寝る前にスマートフォンを渡していませんか？
- ※言葉の習得や愛着は、保護者との会話から生まれます。また、画面から出る光は眠りの妨げになると言われています。
- 【小・中学生】
- ゲーム機や携帯音楽プレーヤーのインターネットへの接続設定(フィルタリング*)は済んでいますか？
 - スマートフォンやタブレットの使いすぎで生活リズムが乱れていませんか？
 - SNSや動画サイトでの「不適切な投稿」がどのようなものか話し合っていますか？
- ※フィルタリングとは、インターネット上の有害サイトなどへのアクセスを制限するものです。設定方法については、各携帯電話会社や機器の取扱説明書などで確認しましょう。

「本当に「インターネット」が悪いの？」

インターネットは、そのもの自体が悪いのではなく、使い方によっては広く活用できるものです。しかし、危険が潜んでいることも事実。これからの時代を生きる子どもたちにとって切離すことのできない存在だからこそ、一人一人がその危険性を知り、どうしたら安全に使うことができるか考えることが必要です。

また、子どもたちが困難に直面したとき、第一に味方になれるのはいつもそばにいる保護者です。話しやすい環境をつくることで、問題解決の糸口がスムーズに見つかるかもしれません。日頃のコミュニケーションも、大事なきっかけづくりの一つです。

インターネットと上手に付き合うためには、どのようなしたらよいのか、家族や友だちと話し合ってみませんか。

これって詐欺!?と思ったら…
■市消費生活センター
期日/月～土曜日 ※祝日を除く。
時間/午前9時～午後5時
☎226-4194

■消費者庁
期日/月～金曜日 ※祝日を除く。
時間/午前10時～正午、午後1時～4時
☎188

迷惑メールや悪質商法などで困ったら…
■警察相談専用電話(24時間対応)
☎#9110

いじめで悩んでしまったら…
■文部科学省 24時間子供SOSダイヤル
☎0570-0-78310

親として思うこと…

家には、家族共用のタブレットがあり、子どもは動画や野球情報を見るのにインターネットを使っています。

「2日15分以内」と約束していますが、あつという間に時間をオーバーしてしまうこともありませぬ。勉強時間を確保してほしいですし、目にも悪いのかなと心配しています。あまり使わないでほしいとは思いますが、気分転換にもなるでしょうから、「絶対ダメ」とは言えません。親である自分も使っていますからね。

お互い使いすぎたり依存したりしないように気をつけたいと思います。「勉強中や夜10時以降は使わない」など、ルールを話し合っていて、守れるように心がけています。



中学3年のお子さんをもつ
岡野洋一さん

